

旅行会社のワイラーライアンス(東京・新宿)は8月13〜28日、東京タワーなどの名所を巡りながら、車内で食事や缶ビールを楽しめる「レストランバス」を東京都内で運行する。期間中、訪日外国人客を含め900人超の利用を見込む。

地方創生事業を手がける子会社、ワイラーコーポレーション(兵庫県豊岡市)が地域活性化支援のumari(ウマリ、東京・港)と組んで運行する。コースは3種類あり、各日とも午後3時、同5時30分、同7時45分、出発の3便を走らせる。

レストランバス発車



車内では佐渡島産の黒豚を使ったハンバーグなどを提供する(新潟県での運行)

ワイラー 1階で料理、2階で舌鼓

料金は大人が4800円、子ども(7〜12歳)が2800円。コースの一つは東京駅

置した。客席の屋根は開閉できる。

近くの鍛冶橋を出発し、銀座、お台場海浜公園、レインボーブリッジ、東京タワーをまわり、再び鍛冶橋に戻る。所要時間は1時間半。午後7時45分発のプランは「ナイトクルーズ」と名付け、東京の夜景を堪能できる。

レストランバスは1階が厨房、2階が客席で20人が座れる。ワイラーが保有するバスを改修した。テーブルには飲み物を固定するホルダーを設

来月13〜28日 銀座やお台場巡る

運行中に出す食事は、新潟県産の枝豆、佐渡島産の黒豚を使い半熟卵を絡めて食べるハンバーグ、日替わりのパン。キリンビールの「一番搾り」(350ミリ缶)を3本まで飲める。未成年者などにはソフトドリンクを用意する。

ワイラーなどは4〜7月に新潟県内でレストランバスを運行しており、利用者から好評だという。同社は全国への拡大を目指しており、8月下旬には都内で自治体や企業など関係者向けに、説明会や体験ツアーを実施する。